

刀-スッパな 僧侶たちが刀-マジシ

仏教の未来に
挑戦する情報誌!!

特集

お寺で宇宙学とは？

鼎談：お寺で宇宙学実行委員会
「僧侶×科学者×学生↓未来」

31

マンガ お坊さん日和：第10話「平和を考える」
仏教体験レポート：お坊さんと缶談ナイト♪
しりとり法話バトル：第4回「ルール」
10・11月の仏教イベント情報

31

特集 お寺で宇宙学とは？

文：磯部洋明
text: Hiroaki Isobe

私は宇宙物理学を主な研究分野とする科学者です。母方の祖父は釋尾弘邦という仏教画家で、それもあってか仏教への親近感は以前から多少あつたように思いますが、今も昔も特定の信仰は持っていません。そんな私が「お寺で宇宙学」をやるうと思つた最初の動機は少々不純なものでした。

若手天文学者たちを中心に天文学普及のためのユニークな活動をしている「天ブラ」という団体があります。ここが東京の六本木ヒルズで30〜40代の女性を主なターゲットにした天体観望会を2009年頃に始めました。「東京の連中が何やら小洒落たことを……京都でこれに對抗するにはお寺しかない！」というわけで、私と同じ京大の大学院で宇宙物理学の修士号を取り、今は伊丹市の浄土宗光明寺のご任職である齊藤祥行さんにメールで相談したところ、「うーん……そんな話は……大好きです(〇〇)」とフリースタイルな僧侶たち(以下フリスト)のみなさんをご紹介いただき、2010年に「お寺で宇宙学」が始まりました。

興味関心を持つてくださる方に応えることはとても大切ですが、もともと関心が高くない方にもうアプローチしたらよいかというのが大きな課題になっています。フリストのみなさんとお話をさせていただくと、お寺や仏教をもっと身近に感じて欲しいという、私たちと似たような問題意識を持つておられることに気づきました。お寺で宇宙や科学のイベントを開けば、普段はお寺とは縁遠いけど宇宙や科学は好きという方々がお寺に足を運ぶきっかけになりますし、逆に科学者の側は、お寺の檀家さんや地域の方など、特に宇宙や科学が好きでもない方とお話ができます。その意味で「お寺で宇宙学」は科学者とお坊さんがWin-Winの関係(適切な表現かは分かりませんが)になれるイベントなのだと思います。また宇宙の研究といえればいわゆる理工系の研究をイメージされる方が多いと思いますが、私の所属する京都大学宇宙総合学

研究ユニットでは、文化、社会、倫理、そして宗教といった観点から、宇宙と人間の関係を探る研究を始めています。お寺という場でお坊さんや地域の方々と宇

「お寺で宇宙学」は科学者とお坊さんがWin-Winの関係になれるイベントなのだと思います。



重苦しい現実を軽やかに変えてゆくには、関西的なノリで「オモロい」ことをやってゆくのが良いに違いない。

宙について語り合う場合は、宇宙のことを知ったり宇宙に進出したりすることが人々の心にどのような影響を与えるのか、宇宙時代の宗教の役割は何かといった学術的な問題を考える上でも、とても有益な示唆を得ることのできる場です。

そしてその先にある問題意識が、科学と宗教のあり方についてです。科学と宗教の共存は長く深い議論の歴史がある古典的なテーマです。何を今さらと思われるかも知れませんが、私の問題意識は、自分の理解の範囲を越えた科学技術にそれでも依存して生きて行かざるを得ない現代社会において、科学者でもなければ信心深くもない普通の人がよりよく生きるために、科学的な物の考え方と宗教的な心のあり方が、社会の中で、そして一人一人の心の中にどのような実装されるのがよいのか、ということにあります。

この思いは、2011年の東日本大震災とそれに伴う原子力発電所の事故の後に一層強くなりました。ここで多くを語ることはできませんが、私、そしておそらく少なからぬ科学者が、科学的知見を伝えることの大切

さを再確認したと同時に、ただ科学的知見を語ってもそれが相手に伝わりとは限らないし、まして人々の心の安寧にはつながらないという現実を思い知らされました。宗教者の間でも、あの未曾有の災害に対して宗教がどのような役割を果たしているのか、苦悩と試行錯誤があったと聞いています（その現実には様々な形で立ち向かった科学者や宗教者がたくさんいたこともご存知の通りです。私は残念ながらその一人ではありませんでした）。

2011年度の後半以降、自身の仕事が多忙を極めてきたために「お寺で宇宙学」はしばらく休止状態になっていたのですが、私の問題意識は少しずつ強くなっていました。幸いにも学生団体Notisさんが運営のかなりの部分を担ってくださることになり、2014年に本格再開にこぎつけることができました。今に至ります。

最後は少々重たい話になってしまいました。宮沢賢治が「宗教は疲れて近代科学に置換され然も科学は冷く暗い」という言葉を残しています。この状況は今も続いていると言わざるを得ないかもしれません。この

重苦しい現実を少しでも軽やかに変えてゆくには、きつと関西的なノリで「オモロい」ことをやってゆくのが良いに違いありません。京大はわりとそういうノリを好む大学ですが、フリスタにもそういう匂いをかなり感じます（笑）。オモロいことを大切にしつつ「お寺で宇宙学」を続けてゆく中で、科学と宗教がゆるやかに重なった輪を少しずつ拡げてゆければと思っています。



磯部 洋明(いそべ・ひろあき) ●1977年神奈川県生まれ。岡山県で子供時代を過ごす。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程修了。東京大学やケンブリッジ大学での研究員等を経て現職。専門である宇宙物理学、特に太陽の研究のかたわら、宇宙時代の人間や社会を対象にした人文社会系の新しい研究の開拓や、宇宙科学とアートや伝統文化のコラボ企画などを手がける。主な著書に『宇宙人類学の挑戦』(共著/昭和堂)など。

僧侶×科学者×学生→未来

中島浩彰（真宗大谷派小野山浄慶寺（おのざん・じょうきょうじ）第21世住職、国境なき僧侶団共同代表、Studio-蔵代表）



磯部洋明（京都大学宇宙総合学研究ユニット特定准教授）



牧澤遼（学生団体「Noti's」お寺で宇宙学運営担当、宇宙教育事業部リーダー）

始まりと終わり、すべてにこれを求め人は探求し続けてきました。時代や場所を越え文明・文化・宗教・科学それぞれこの始まりと終わりに問を掛け答えを導き出そうとしてきました。多くは相まみえることなく来たこれらが、21世紀バラバラで一緒、違いを認めつつさらなる深みへ歩み出しています。

いくつもの宇宙観

中島浩彰（以下中島） 磯部さんがお寺に訪ねてこられて、「お寺で宇宙学」の話をしていただいたのが2010年の5月でした。面白いことができそうな予感がして、嬉しかったですね。

宗教と科学って矛盾するように思われているかもしれませんが、浄土真宗では科学と同じように迷信を信じることを嫌いますし、実証的な裏付けを求め

る姿勢では共通します。だから、浄土真宗と科学は相性がいいんです。しかし、参加者のニーズとしてはもっと神秘的な仏教世界を語って欲しいらしいのですが、逆にそこは浄土真宗の苦手な分野だったり（笑）

磯部洋明（以下磯部） 仏教の宇宙という、曼荼羅の宇宙観などをイメージする人が多いようですね。

中島 宗派ごとに世界観が違うということも知ってもらいたいですね。正し

いものを選択して他者を排除するよりも、違いを知って認めていくことのほうが大切です。仏教の世界観と科学の世界観が違っていたとしても、それはそれでいいんだと思います。

牧澤遼（以下牧澤） 私たち学生団体「Noti's」は、今年から運営のお手伝いをしていっていますが、日ごろお坊さんと話す機会はないので、仏教の世界に触れられたことがとにかく新鮮でした。



中島浩彰（なかじま・ひろあき）●1970年京都府生まれ。京都国際文化専門学校観光旅行学科語学ビジネスコース卒。大谷大学文学部真宗学科卒。真宗大谷派宗務役員、古着ブローカー、印刷業等々を経て1999年住職就任。敷居を下げた開かれたお寺を目指し、「ぶっちゃけ・問答」、「テラの音」、「真宗ぶっちゃけ・問法」等、市民一般との交流の場を模索。2013年より国や宗派を超えた自立した僧侶の集まり「国境なき僧侶団」を設立。

現代では宇宙は科学的に解明されていくイメージがあります。しかし、「Noti's」の基本理念は「宇宙を通して、人のためになることをする」ことです。だから、文系の学生も理系の学生も一緒にあって、宇宙を舞台にさまざまな角度から活動してきたのですが、磯部さんから「お寺で宇宙学」という言葉を聞いたときには、さすがに衝撃を受けました(笑)

人工知能は信仰心を持てるのか

中島 これまでに11回実施してきたなかで、一番インパクトがあったのが第2回のときの「人工知能は宗教を持つのか」という話題提起でした。日ごろのお寺の生活のなかでは想像することのないトピックですが、立命館大学の手塚太郎先生からお話いただき、この問題をはじめ真剣に考えました。

磯部 あのトピックは、私にとっても印象的でした。ロボットのプログラムの中に一体なにを組み込めば、信仰を持つことになるんでしょうね。家庭用小型ロボット「パペロ」をお寺で修行させてみればなにかわかるかもしれません(笑)

牧澤 人間の脳もパペロの知能も、同じように回路だと考えられますよね。回路が宗教や感情を持つ仕組みってどうなっているんでしょうか？ いくつか脳科学の専門家の先生にお越しいただいて理解を深めてみたいです。

中島 仏教と科学の境界は曖昧になってきていますよね。他にも、量子力学では意識と現実の関係性が論じられることもあるそうですし。



現代の最先端の科学が抱える問題は、お釈迦さまの言葉だけでは解決できないことがあります。自分が出会ってきた仏教が問われているともいえるでしょう。逃げずに問題に向き合っていくことで自分の仏教観を広げていきたくと考えています。

人間というもののへの関心

牧澤 講演会だと受け身になって聞いてしまいますが、お寺の本堂だとみんな同じ高さで近い距離で接することができます。質問も出やすく、自然にいろいろな人が関われる雰囲気になりますよね。さまざまな考えを知ることができて楽しいし、お寺と宇宙って意外とかけはなれたものでもないなあ。結局、学問ってつきつめていくと、人

間の感情に関わる人が多いですし。

磯部 人間の感情を考えていくときには、科学ではどうしても語れないことがあります。例えば「人はいつか死ぬ」ということは科学的な事実ですが、それにどう向かい合ったら良いのかについて科学は語りません。価値観などのように、科学の方法論が扱えないことは語らないというのが、科学者としては誠実な態度ともいえます。しかし、答えを見つけない限りは「死」への不安や疑問は残り続けるんですよ。

科学者とお坊さんという両分野のエキスパートが語り、共通点を探ってみる。しかもその議論に、科学に詳しくもなく信心深くもない、いわゆる一般人も参加する。ここに、「お寺で宇宙学」の意義があると思います。

中島 これまでも、京都だけではなく

愛知県名古屋市や大阪府岸和田市のお寺にも出張して開催してきましたが、老若男女とわず誰でもが参加できるお寺が、人間というものを考える場としてもつと活用されていくと良いですよ。磯部さんや牧澤さんが、お寺の敷居を下げてくださるのが、なにより有難いです。

牧澤 年齢を重ねてきた方の重みのある言葉を聞き、そしてその近くで子どもたちの笑い声が響くような場は、お寺以外にはなかなかないと思います。これからももつとお手伝いをしたいですし、私自身、どんどん学びを深めていけると嬉しいですね。

磯部 じゃあ、今後、「神社で宇宙学」とか「教会で宇宙学」とか。

牧澤 楽しそうですね。興味ある方は、ぜひお声かけください！ 精一杯サポートします。

連載

お坊さん日和。

10
「平和を考える」
まんが
みつだち ひろあき

こんにちは、最近は何騒な
ニュースばかり耳に入りますね。
近いところまで、争いの足音が
聞こえてくるようです。

宗教界もこれらの動きに対して
おのの考えて敏感に
反応していますね。そこで、
今回は私も一人の仏教徒、
また現代の若者として、争いや
平和について少し考えてみます。

現在、二十代なかばの私は
学生時代、学校の勉強の中で
「戦争は過ちであった」
平和こそ尊いものだ
と、繰り返し繰り返し黒板と
教科書を中心に教わりました。

戦争を直接体験していない私には
戦争はマンガや映画の世界でした
です。学校で「平和」につい
て学んでも、正直ピンときません
でした...

しかし！ お寺にお参りに
来られた方から聞いた
戦争の実体験は生々しく！
身近で！ 他人事ではない！
と感しました。

わしはの
空襲のとき
うんたら
かんたら
...

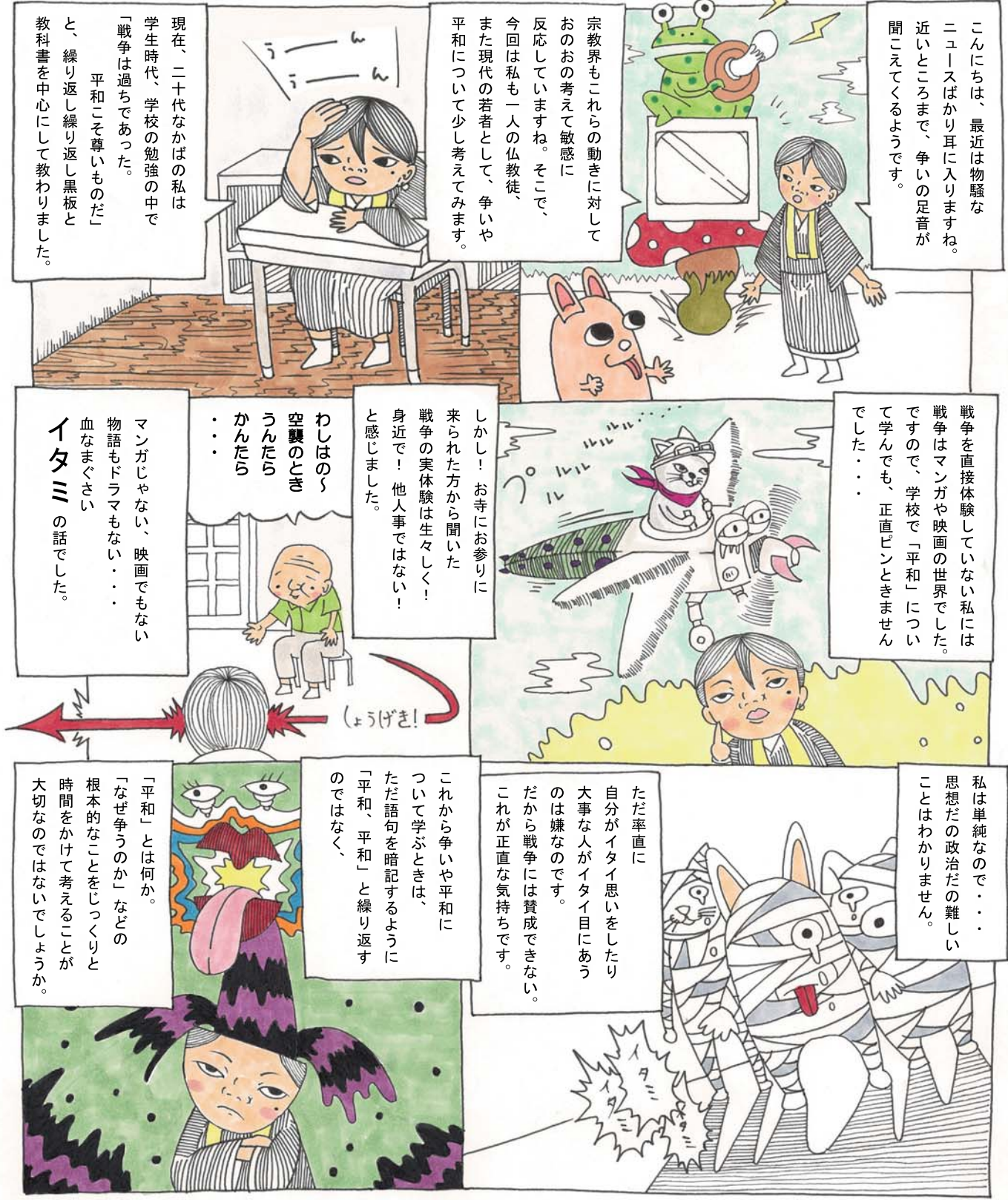
マンガじゃない、映画でもない
物語もドラマもない...
血なまぐさい
イタミの話でした。

私は単純なので...
思想だの政治だの難しい
ことはわかりません。

ただ率直に
自分がイタイ思いをしたり
大事な人がイタイ目にあう
のは嫌なのです。
だから戦争には賛成できない。
これが正直な気持ちです。

これから争いや平和に
ついて学ぶときは、
ただ語句を暗記するように
「平和、平和」と繰り返す
のではなく、

「平和」とは何か。
「なぜ争うのか」などの
根本的なことをじっくりと
時間をかけて考えることが
大切なのではないだろうか。



取材／中島真帆



色んなきっかけが重なって、徐々に興味が湧いてきた仏教。けれども普通の会社勤めの毎日で、そんなに仏教切り口の話をする機会なんてありませんし、「この年になって、諸行無常、一切皆苦が何となく理解できそうになってきて・・・」などという会話をふられない限り、自分から盛り上げるのはなかなか難しい。だからたまたまネットで見つけた「お坊さんと缶談ナイト」、会社帰りにフラッと寄って

みることにしました。5、6人くらい座ることのできるテーブルが4卓。一卓につきお坊さんがひとりふたり。どのテーブルもほぼ満席でした。特に何の目的も持たずに参加しましたが、同じテーブルに袈裟の人がいるのです。気づけばみんな「お参りとかたくさんすれば本当に天国に行けるんですか？」「輪廻転生ってどうなってるって本で読んだんですけど・・・」などという話を普通にしてみました。ひとりでただ知識を蓄えるよりも、こうやって会話してレスポンスを聞くのが一番勉強になるかもしれません。気を遣って日の当たった会話ばかりしてのに飽きた人も、こんなイベントに参加してみてはいかがでしょうか。

「お坊さんと缶談ナイト」
「フリースタイルな僧侶たち」のスピノフ企画として登場した、さばのゆ温泉究極のゆる飲みイベント。缶談をおツمامミにお坊さんとゆるゆる飲みながら大人のしゃべり場&楽しい時間を。仏教に興味がある方も、ただホー（坊）っと飲み語りたいたい方も、誰でも、どんな煩惱を持っていても参加いただけます。
次回開催は11月29日（土）19時より、さばのゆ温泉にて。
詳細は <http://sabadai.com>

しりとり 法話バトル

第4回

お 題

ル
ー
ル

俳優の哀川翔さんがテレビ番組で「ゴミをまたいだら半殺し」という家庭のルールを紹介されていました。これは「ゴミをみたら素通りせず必ずゴミ箱に捨てる」ということで、これを5人の子どもたち徹底しているそうです。「半殺し」とはちよつと物騒な言葉ですが、このルールの中に哀川さんの家族に対する愛情を感じます。

さて、お釈迦さまが在世の当時、多くの方が集まり教団ができました。そうした中、戒律（仏教徒としてのルール）が生まれます。「殺してはならない」「盗んではならない」という五戒にはじまり、僧侶

文・浅野執持

浄土真宗本願寺派僧侶

が守るべき律を含めると数百年に及びます。その全てを守ることは不可能のようにも思えますが、戒律はそれを守れないものを排除するためにあるのではなく、そのように生きられないでいる者への慈悲心のあらわれでもあるといただいています。

◎次回のお題は「留守」

●しりとり法話バトルとは

ウデに覚えのある僧侶たちが、毎号しりとり形式で出されるお題にのっとって法話を作り、きびしい審査によって掲載・非掲載のふるいにかけられる、フリースタイルなみるサバイバル企画。ウェブでは、残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価を見ることができるので要チェック！

www.freemonk.net

【 仏 教 体 感 】

10/14
他

働く人のための坐禅会

東京

仕事帰りに疲れたところと頭の整理をしませんか？
お一人でも気軽にご参加ください

日時：10月14日（火）20:00～21:30
11月11日（火）20:00～21:30
（60分の坐禅と20分のお茶会）

会場：仏教伝道センタービル7F「縁」の間
講師：阿 純章（おか・じゅんしょう）師／天台宗
参加費：500円
定員：30名／男女不問

申込み：事前のお申し込みが必要です。詳しくは仏教伝道協会ウェブサイト、Facebookをご覧ください

10/23
他

仏教聖典を初歩英語で学ぶ会

東京

1回のみ参加でもOK！
簡単な英語を交えながら日本の仏教精神を学ぼう

日時：10月23日（木）18:30～20:00
11月27日（木）18:30～20:00

会場：仏教伝道センタービル8F「和」の間
講師：ケネス・タナカ 師／浄土真宗
テキスト：『BDK TV 説法DVD』（随時、配布します）
対象者：英語初心者（中級・上級英語習得者および外国の方も大歓迎）

参加費：500円
定員：40名
申込み：事前のお申し込みが必要です。詳しくは仏教伝道協会ウェブサイト、Facebookをご覧ください

【主催】



公益財団法人
仏教伝道協会
BUKKYO DENDO KYOKAI

東京都港区芝 4-3-14 <http://www.bdk.or.jp>
Tel: 03-3455-5877 E-mail: bdk@bdk.or.jp
Fax: 03-3798-2758
▶ “公益財団法人仏教伝道協会”
URL www.facebook.com/bukkyodendokyokai

10/26

第4回禅とキリスト教の出会い -現代の宗教間交流から見えてくるもの-

東京

心の在り方を示し、心の平安を与えてくれるはずの宗教。しかし世界ではいまこの瞬間も宗教を巡って争いが延々と繰り返され、多くの人が悲しみの中にいます。今回の講座では「異なる宗教が共に歩んでいく道はないのか？」この疑問に一石を投じ、現代における新しい宗教のあり方を示します。

日時：10月26日（日）13:30開場、14:00～16:00
会場：聖イグナチオ教会

東京都千代田区麹町 6-5-1
JR 四ツ谷駅 下車徒歩1分

講師：クラウド・リーゼンフーバー神父（上智大学名誉教授）
安永祖堂師（花園大学文学部仏教学科教授）

参加費：無料
申込み：事前予約制（住所・氏名／ふりがな・電話番号 明記の上、
FAX・メール・はがきにてお申し込みください）
FAX：03-5779-3801
メール：zen@myoshin-zen-c.jp
はがき：〒154-0003 東京都世田谷区野沢 3-37-2
龍雲寺会館内 東京禅センター

問い合わせ：臨済宗妙心寺派東京禅センター
03-5779-3800

※10月11日（土）開催「科学と仏教の接点13」も予約受付中
http://www.myoshin-zen-c.jp/event/event_kagaku.htm

10/26

曹洞宗法要ライブ 法悦 -HOUETSU-

東京

—若き僧の美しい所作に酔う、特別な一夜を—

永平寺や總持寺に代表される曹洞宗の修行道場。そこで750年もの長きに渡り、たった一日たりとも休まねずに行われてきた朝の修行を、浅草橋ヒューリックホールにて完全再現。それが曹洞宗法要ライブ 法悦 -HOUETSU- です。40名を超える現役の若き僧侶が一堂に会し披露するのは、研ぎ澄まされた所作。経典を運び読経をするその所作のすべては、日々の研さんを経て能や歌舞伎などの伝統芸能のような美しき様式美へと昇華されました。

曹洞宗の歴史の中で、修行道場以外でこうした所作を公式にお披露目するのは極めて稀なことであり、革新的な試みでもあります。ぜひこの機会をお見逃し無ないように足を運んでいただければ幸いです。

日時：10月26日（日）16:30開場、17:00開演（内容90分）
会場：浅草橋ヒューリックホール

東京都台東区浅草橋 1-22 ヒューリック浅草橋ビル 2F
<http://www.hulic-hall.com/>

入場料：3,500円
申込み：チケットぴあ [Pコード：627-605]
問い合わせ：曹洞宗総合研究センター 03-3454-7170
<http://www.sotozen-net.or.jp/houetsu/>

主催：曹洞宗総合研究センター
協力：アートディレクションカンパニー DONGURI

10 / 24

第12回お寺で宇宙学
(第1回教会で宇宙学?)

京都

科学者とお坊さんと一緒にお寺で宇宙を語りませんか？お寺で宇宙学では、第一線で研究する研究者と地域で活動するお坊さんを囲んで、宇宙、学問、宗教などを語り合います。今回は特別編。お寺ではなく、宇治市の東方典礼カトリック教会で開催します。

日時：10月24日(金) 19:30~21:30 予定
(21:30以降は座談会形式、適時解散)

会場：東方典礼カトリック教会
京都府宇治市広野町西裏77
近鉄電車大久保駅 下車徒歩5分

話者：白水徹也(名古屋大学大学院多元数理科学研究科)
「宇宙の眺望-多様な宇宙と私たちの宇宙-」
下城惇(東方典礼カトリック教会日本管区長総大司教)

参加費：1,000円

定員：30名程度

申込み・問い合わせ：お寺で宇宙学実行委員会
otera@kwasan.kyoto-u.ac.jp
(参加される方のお名前を明記の上、上記アドレスまでお送りください)

主催：お寺で宇宙学実行委員会

共催：京都大学宇宙総合学術研究ユニット、フリースタイルな僧侶たち、学生宇宙団体 Noti's

イベント詳細：<http://www.uss.kyoto-u.ac.jp/otera/>

10 / 19

三曹空寂
-仏教と演劇・和太鼓の出会い-

三重

今年で創立50周年を迎える三重県曹洞宗青年会が、仏教と演劇、和太鼓の共鳴により生死を表現する新しい試みの公演を行います。タイトルに掲げた「三曹空寂」とは、「三輪空寂」という仏教の言葉をアレンジした造語。三重県曹洞宗青年会によって演劇と和太鼓、演者と聴衆との一体感を得ることを表した言葉です。互いのバランスが調和し、清らかで執着のない境地。あるがままの世界。このまったく新しい試みをぜひ目撃してください。

日時：10月19日(日) 13:00開場、13:30開演
会場：三重県文化会館 大ホール

三重県津市一身田上津部田1234
[第一部/演劇] 鳴海康平(演出/第七劇場)
油田晃(脚本/劇団Hi!Position!!)
小菅敏史(主演/第七劇場)
三重県曹洞宗青年会会員(出演)

[第二部/和太鼓] 服部博之(演出・出演/和太鼓奏者)
鼓司(出演/三重県曹洞宗青年会)

[御詠歌] 鈴木恵道師(特別出演/長野県茅野市検校庵住職、曹洞宗梅花流特派師範)

入場料：3,000円(全席自由)、未就学児無料

申込み：【塔世山 四天王寺】059-228-6797

【三重県文化会館窓口】059-233-1122

(10:00~19:00、月曜・月曜祝日の翌平日は休館)

【チケットぴあ】[Pコード：437-410]

0570-02-9999

問い合わせ：三重県曹洞宗青年会 080-2645-7571

塔世山 四天王寺 059-228-6797

11 / 15

アラサー僧侶とゆるーく話す会

京都

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいこと等、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、気になってることをお坊さんに質問してみたい方、ただただゆったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。

お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか？どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

日時：11月15日(土) 14:00~16:30

会場：四条京町家 1F

075-255-0801

京都市下京区郭巨山町11(四条通西洞院東入ル)

阪急京都線烏丸駅・京都市営地下鉄四条駅 下車

阪急西へ徒歩5分、四条通の北側

主催：フリースタイルな僧侶たち

会費：1,000円(フリスタ会員は800円)

定員：10名

申込み：<http://www.freemonk.net/events>



10 / 4

『俱舎論』を8年間かけて読む会

京都

仏教の基礎を学んでいくプロセスを、「桃栗三年柿八年」ということわざをもじって「唯識三年俱舎(くしゃ)八年」という言葉で呼ぶことがあります。

「俱舎」とは、インドの学僧世親が遺した著書『阿毘達磨俱舎論(あびだつまくしゃろん)』であり、その中にはこの世の成り立ちや私たちの心のあり方について細かく分析的に述べられています。「仏教辞典」として、初心者も専門家も常に机の上に置いておきたい一冊です。

2年間にわたり「経典をナナメから読む会」を実施し、多くの経典を楽しく味わってききましたが、本年からは、「俱舎」をひもといて一つひとつの仏教語の奥行きをゆるやかに味わっていきます。どうぞ気軽におつきあいください。

日時：【第8回】10月4日(土) 19:00~21:00

【第9回】11月1日(土) 19:00~21:00

会場：龍岸寺

京都市下京区塩小路通黒門西入八条坊門町564

JR京都駅 下車徒歩10分

会費：1,500円(フリスタ会員は1,300円)

※うち1,000円は震災復興支援のため寄付いたします

定員：20名

申込み：<http://www.freemonk.net/events>

編集後記

今回の中島さん、牧澤さんとの鼎談は、山科区にある京都大学花山天文台で行いました。花山天文台は昭和4年にできた歴史ある天文台で、「お寺で宇宙学」のきっかけを作ってくださった齊藤祥行さんと私が、共に大学院生として宇宙物理学を学んでいた場所でもあります。それにしても、天文台にお坊さんと和服姿の女子大生というのはなかなか不思議な光景でした。

浄慶寺さんで撮影した写真で使っている宇宙飛行士っぽいブルースーツは、子ども向けの宇宙教育イベント等のボランティアで活躍している個人の方から拝借したもので

● す。私としてはお坊さんにもぜひ着てみて欲しかったので
● す。いつもフリスタの表紙写真を見て、これ作ってる人たち絶対面白がってるよなあ、と思っていました。実際に撮影される側になり、デザイナーやカメラマンさんが常に「オモロい方へオモロい方へ」持って行こうとするのを目の当たりに。このノリとその奥にある真剣さのギャップが、フリスタの魅力だと再認識しました。

● 第31号輪番編集長 磯部洋明(お寺で宇宙学実行委員会)

? フリースタイルな僧侶たちとは

「仏教＝葬式」だとあなたは思っていませんか？しかし、経典をひもといってみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。

人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありえません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。

「フリースタイル」という言葉をかかげたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようとする志のことです。

本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。

私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることも

あるかもしれません。その際には、みなさまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願いいたします。

志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

サポーターズ・クラブ会員募集中！！

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中
協賛年会費 5千円(個人)／3万円(法人)

◎サポーターズ・クラブのみなさまには、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。

◎法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口 龍法

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください

《お問い合わせ先》

Tel : 075-555-5730 Fax : 075-777-9579

E-mail : info@freemonk.net

— どこよりも勉強する店 —

【各宗派法衣・袈裟・幕・記念品】

法衣・呉服のクリーニング承ります

西陣織元 丸西宗教織物 株式会社

京都市下京区堀川通り正面上ル(西本願寺前)

- 丸西 西本願寺前店 ☎0120-075-024
- 丸西 広島店 ☎0120-082-081
- クリーニング部 ☎0120-075-461

今のあなたに効くお寺、あります



『お寺に行こう！
一坊主が選んだ「寺」の処方箋』
池口龍法／講談社／175頁／1404円

弊誌代表、池口が自信を持っておすすめする、旬なお寺の厳選ガイドブック。あなたの心にぴったりのお寺を見つけて、生きる力をもらってみませんか。Amazonや全国書店で好評発売中！

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいたみなさまに厚く御礼を申し上げます。
以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

- あ 安心院(京都府八幡市/浄土宗)
安楽寺(京都府南丹市/浄土宗)
石尾山弘法寺(大阪府和泉市/真言宗)
円光寺(東京都台東区/臨濟宗妙心寺派)
延命寺(大阪府堺市堺区/浄土宗)
圓融寺(東京都目黒区/天台宗)
- か 宜雲寺(東京都江東区/臨濟宗)
吉祥寺(山口県萩市/浄土宗)
九品寺(京都府京都市南区/浄土宗)
教安寺(福岡県福津市/浄土宗)
慶蔵院(三重県伊勢市/浄土宗)
光照院(東京都台東区/浄土宗)
光照寺(大阪府大阪市東淀川区/浄土真宗本願寺派)
光徳寺(福岡県みやま市/浄土真宗本願寺派)
光明院・田中医院(京都府京都市中京区/浄土宗西山禪林寺派)
光明寺(奈良県吉野郡/浄土真宗本願寺派)
五百羅漢寺(東京都目黒区)
金剛寺(京都府京都市東山区/浄土宗)
- さ 西明寺(兵庫県尼崎市/浄土宗)
西楽寺(京都府京都市伏見区/浄土宗)
浄栄寺(滋賀県東近江市/浄土宗)
正覚寺(青森県青森市/浄土宗)
浄元寺(兵庫県尼崎市/浄土真宗本願寺派)
性高院(愛知県名古屋市中千種区/浄土宗)
正善寺(兵庫県伊丹市/浄土宗)
正法寺(京都府京都市東山区/時宗)
勝楽寺(東京都町田市/浄土宗)
正蓮寺(静岡県伊豆の国市/真宗大谷派)
信覚寺(福岡県朝倉郡/浄土真宗本願寺派)
新善光寺(北海道札幌市中央区/浄土宗)
瑞聖寺(東京都港区)
崇福寺(滋賀県甲賀市/浄土宗)
善願寺(滋賀県甲賀市/浄土宗)
善道寺(北海道札幌市豊平区/浄土宗)
- た 大圓寺(東京都目黒区/天台宗)
臺鏡寺(大阪府枚方市/浄土宗)

- 檀王法林寺(京都府京都市左京区/浄土宗)
潮音寺(東京都大島町/浄土宗)
超覚寺(広島県広島市中区/真宗大谷派)
長壽院(東京都台東区/浄土宗)

- は 梅窓院(東京都港区/浄土宗)
法岸寺(静岡県静岡市清水区/浄土宗)
宝華山廣讃寺(岐阜県瑞穂市/浄土真宗東本願寺派)
宝皇寺(北海道函館市/真宗大谷派)
寶松院(東京都港区/浄土宗)
宝泉寺(愛知県津島市/浄土宗西山禪林寺派)
法善寺(大阪府大阪市中央区/浄土宗)
法然院(京都府京都市左京区)
法華寺(京都府亀岡市/日蓮宗)
本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区/天台宗)
- ま 無量光寺(鳥取県鳥取市/浄土宗)
- や 薬師院(大阪府岸和田市/真言宗)
陽岳寺(東京都江東区/臨濟宗妙心寺派)
- ら 龍岸寺(京都府京都市下京区/浄土宗)
緑泉寺(東京都台東区/浄土真宗東本願寺派)

- 一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)
遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)
学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)
株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)
株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)
株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)
株式会社 作島(京都府京都市下京区)
株式会社 寺の友社(京都府宇治市)
京都坊主BAR(京都府京都市中京区)
茶坊えにし(東京都台東区)
寺院コム(京都府京都市左京区)
浜屋株式会社(兵庫県姫路市)
ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所(京都府京都市中京区)

※ 協賛は随時受け付けています

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に
広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店
まで、さまざまな場所に設置しています。設置箇所は現在も拡
大中!!(ウェブサイトで確認できます)
興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

媒体情報

仕様: A4サイズ/12頁/カラー
発行部数: 11,000部
(2014年10月現在)

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





Hamaia

浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は

通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店/☎(0745)31-2211代 | ■尼崎市役所前店/☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店/☎(0743)83-2211代 | ■尼崎店/☎(06)6413-2211代 |
| ■岸和田店/☎(072)445-2211代 | ■宝塚店/☎(0797)83-4500代 |
| ■堺鳳店/☎(072)261-2211代 | ■西宮店/☎(0798)51-2211代 |
| ■藤井寺店/☎(072)954-2211代 | ■西宮駅前店/☎(0798)34-2280代 |
| ■駒川店/☎(06)6709-2211代 | ■芦屋店/☎(0797)35-1194代 |
| ■八尾久宝寺店/☎(072)925-2200代 | ■三田店/☎(079)559-2211代 |
| ■中環東大阪店/☎(06)6783-2211代 | ■神戸本店/☎(078)371-2211代 |
| ■寝屋川本店/☎(072)829-2211代 | ■新長田店/☎(078)621-2211代 |
| ■枚方家具団地店/☎(072)836-2211代 | ■明石店/☎(078)927-2211代 |
| ■高槻店/☎(072)683-2211代 | ■加古川店/☎(079)426-2211代 |
| ■茨木店/☎(072)726-2211代 | ■高砂店/☎(079)443-2211代 |
| ■箕面店/☎(072)622-5522代 | ■姫路本店/☎(079)282-2211代 |
| ■豊中熊野店/☎(06)6853-2220代 | ■福崎本店/☎(0790)22-2211代 |
| ■豊中熊野店/☎(06)6848-2211代 | ■網干店/☎(079)272-2211代 |
| ■川西店/☎(072)759-2201代 | ■龍野店/☎(0791)62-2235代 |
| ■北伊丹店/☎(072)780-5211代 | ■赤穂店/☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店/☎(072)775-2211代 | ■山崎店/☎(0790)62-5171代 |
| ■東園田店/☎(06)4960-4000代 | ■浜屋漆芸館/☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

僧侶がいる、京都発ボーカルグループ、キッサコ。

歌のテーマは「家族」、「故郷」、そして「心」。3人の織りなす優しくも強く響くハーモニーが心のどこかに置き去りになった大切なものを思い出させてくれるはず。

【キッサコ】

2003年京都で結成、2007年YAMAHA MUSIC COMMUNICATIONSよりメジャーデビュー。グループ名の由来は、「お茶でもどうぞ」の意味を持つ禅語「喫茶法」から。また、故郷の未来を考えるチャリティproject『ふるまも』を立ち上げ、2014年11月2日には、京都市円山公園音楽堂でキッサコ単独のチャリティコンサートが決定している。お寺ライブを中心に全国で精力的に活動中。

【リリース&LIVE情報】

3rdフルアルバム「伝言板」

2014年11月2日よりライブ会場、ウェブ通販にて販売開始 ¥3,000(税別)

- 10/11(土)広島県福山市 正法寺 14:00~
- 11/2(日)京都市東山区 円山公園音楽堂 14:00~
- 11/9(日)愛媛県今治市 タオル美術館 12:30~14:00~
- 11/23(日)佐賀県伊万里市 本光寺 16:00~
- 11/30(日)奈良大和高田 専立寺 16:00~
- 12/5(金)東京都世田谷区 龍雲寺 18:30~ (すべて入場無料)

キッサコ「お寺deライブ」募集!!

全国の寺院関係のみなさまへ。御自坊で、キッサコのアコースティックライブを開催しませんか?

お問い合わせはこちら
オフィスキッサコ
info@kissaquo.net まで
キッサコオフィシャルサイト
http://www.kissaquo.net

新曲「人」無料配信!!
ダウンロードはこちら→
(QRコード参照)



公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付:毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内

TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ.http://tomoiki.jp

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン
VOL.31

2014年10月1日発行

総指揮
池口龍法

編集委員(第31号)
お寺で宇宙学実行委員会

デザイン
梅本龍青(NILOTPALA)

マンガ
光澤裕顕

ロゴデザイン
しらたきなべお

P2、P4-P5、P11 撮影:掛川マサ也(イエローストーン)

発行
フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8119 京都府京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町583-5
kawaramachi place 1002号室
TEL 075-555-5730
FAX 075-777-9579
E-MAIL info@freemonk.net

www.freemonk.net

本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。